

令和4年度 予算編成方針

我が国の景気は、直近では持ち直しの動きが見られるものの、感染症による影響や原材料価格の動向による下振れリスクがあるなど、今後の景気動向は引き続き注視が必要である。

都の歳入の根幹をなす都税収入は、こうした状況から改善が見込まれるものの、法人関係税収の占める割合が高く、元来、景気動向に左右されやすい不安定な構造にあり、過去の歴史を踏まえれば、都の財政環境の先行きに予断を持つことはできない。

一方で、世界はすでに「ポスト・コロナ」を見据え、行動を加速化させている。都も、これまで全力を傾けてきた、東京2020大会の成果等を総括するとともに、新型コロナウイルス感染症を乗り越えた上で、「サステナブル・リカバリー」の実現に向け、大胆かつスピーディーに施策をバージョンアップし、都市のレガシーへと発展させつつ、持続可能な都市へ変革を遂げていくことが求められている。

とりわけ、新型コロナウイルス感染症と同じく地球規模で人類の脅威となっている気候危機の問題に対し、まず都庁自らが率先垂範する「隗より始めよ」の意識の下、2030年の「カーボンハーフ」の取組を東京の総力を結集して推進し、東京が世界をリードして脱炭素社会の実現を目指していかなくてはならない。そして、こうした気候変動の影響から近年激甚化する豪雨や、いつ起こるかも知れない大規模地震など、自然災害への備えをはじめとした安全・安心な東京の実現に向けても、危機管理の徹底を図り、積極的に施策を展開していくことが重要である。

同時に、デジタルトランスフォーメーションを強力に進め、未来の水準点となる都市モデルを発信していくことや、世界に冠たる国際金融都市の地位の確立に向けた取組などを強力に進めていく必要がある。さらには、全ての子供が学び、健やかに育つことのできる環境の整備、女性も高齢者も誰もが活躍できる社会の実現など、都民が安心して暮らし、輝ける社会を築くための施策を推進していかなくてはならない。

こうした施策を力強く展開し、都政のクオリティ・オブ・サービスを飛躍的に高めていくためにも、デジタル技術活用の視点を踏まえ、都庁自身が構造改革を徹底的に進めるとともに、各局が緊密に連携して知恵を絞り、行政にない発想、グローバルな視点、外部の専門的な視点などを活用していくほか、業務の効率化などを図ることで、賢い支出を徹底することが不可欠である。

以上のことから、これまで取り組んできた政策の成果を踏まえつつ、事業の妥当性や有効性を改めて検証し、今後注力すべき新たな課題等に対し、必要な見直し・再構築を行う

ことがとりわけ重要となる。このため、予算編成過程における見直しの取組として実施してきた事業評価について、より実効性・効率性の高い施策構築を実現するため、政策評価と一体的に実施し、評価の取組を一層深化させ、施策の新陳代謝を促進していく。これと同時に、将来にわたり財政面での持続可能性を確保する観点から、各局における見積りの段階においても、見直すべき事業を確実に見直し、無駄を無くすための取組を一層強化する。

その上で、都債や基金といったこれまでに培ってきた財政の対応力を、将来負担を見据えながら適切に活用し、山積する都政の諸課題の解決に取り組んでいく。

令和4年度予算は、都政に課された使命を確実に果たし、次なるステージへと力強く歩みを進めることで、希望ある未来を切り拓いていく予算として、

- 1 「感染症の脅威」など大きな危機を克服するとともに、誰一人取り残すことのない持続可能な都市へと進化する「サステナブル・リカバリー」を実現するため、大胆な発想で果敢に取組を進めていくこと
- 2 社会変革に適応した制度や仕組みへの抜本的な見直しを進めるとともに、事業の見直しを一層強化し施策の新陳代謝を促すことにより、将来にわたる財政の対応力を堅持すること
- 3 東京2020大会に向けて磨き上げてきた数々の取組を都市のレガシーへと発展させ、都民の豊かな生活につなげていくこと

を基本として、下記により編成することとする。

記

- 1 「感染症の脅威」など大きな危機を克服するとともに、誰一人取り残すことのない持続可能な都市へと進化する「サステナブル・リカバリー」を実現する取組に財源を重点的に配分する。

また、『未来の東京』戦略の令和4年度事業費については、政策のバージョンアップを含め、確実に計上する。

- 2 都の行う全ての事業について、期限を定めることを原則とするとともに、終期を迎える事業については、事業評価を通じた事後検証を徹底するなど、スクラップ・アンド・ビルドの視点から、必要な見直し・再構築を行った上で、所要額を計上する。

経費の計上に当たっては、最少のコストで最大のサービスを目指し、これまで以上に創意工夫を凝らすとともに、補正予算で計上した事業も含めて過去の決算や執行状況を

徹底的に分析・検証し、事業の評価や実績を踏まえたものとする。

なお、事業評価については、新型コロナウイルス感染症の状況や社会情勢の変化を踏まえた見直しなど、これまで進めてきた取組を不断に実施することはもとより、新たに政策評価と事業評価を一体的に実施し、より成果重視の見直しを行いながら効率性・実効性の高い施策・事業を構築するとともに、事後検証を一層徹底し、施策の新陳代謝を強化するなど、その取組の更なる強化を図る。

(1) 経常経費のうち、自律的経費の計上については、各局の責任において見直し・再構築を行い、十分に精査する。それ以外の経費についても、前項の趣旨に則った精査を行う。

(2) 投資的経費については、重点的かつ計画的な事業量確保と事業執行の平準化を図っていく。

施設建設等については、「(仮称)第三次主要施設10か年維持更新計画策定に向けた指針」における今後の維持更新の考え方にに基づき、事業のあり方、必要性などを検証するとともに、手法やコストなどを改めて十分精査した上で、所要額を計上する。

なお、民間活力の活用を積極的に図ることなどにより、建築・土木コストの適正化に努める。

3 「都政の構造改革」の取組については、コア・プロジェクト及び各局リーディング・プロジェクトをはじめ、都政のクオリティ・オブ・サービス向上に向けて短期集中で実践する取組の一層の加速化を図るとともに、デジタルガバメント・都庁の基盤構築を見据え必要となる所要額を計上する。

4 大学研究者及び都民による事業提案制度に基づき構築する事業については、東京に集積されている「知」や都民の意見を都政の喫緊の課題解決や東京の未来の創出に資する事業構築に活かすという制度の趣旨に鑑み、都民による投票の結果を踏まえ、所要額を計上する。

また、職員による事業提案制度に基づき構築する事業については、予算編成過程に職員の声を直接反映させることで、職員の経験や知識を活かした実効性の高い施策を立案していくという制度の趣旨を踏まえ、積極的に検討を図った上で、所要額を計上する。

5 組織定数については、引き続き効率的な執行体制の整備のため必要な見直しを行うとともに、「『未来の東京』戦略」に係る重要課題等に的確に対応するため必要な体制・人員を措置する。

6 政策連携団体については、「都庁グループ」の一員として、新たな都政課題や都民ニーズに的確に対応していく責を有していることから、これまで以上に都との連携を強化するとともに、その存在意義を検証し、団体の在り方や事業について不断の見直しを行う。併せて、経営の効率化、自立化の促進及び都と政策連携団体等との役割分担の観点から、

補助及び委託の内容、方法など必要な見直しを行った上で所要額を計上する。

また、政策連携団体以外の団体に対する財政支出についても、事業評価の取組などを通じ、内容や方法など必要な見直しを行った上で所要額を計上する。

- 7 区市町村に対しては、地方分権を推進する観点から、役割分担を一層明確化し、区市町村の自主性・自立性の更なる向上を図る視点に立って、補助金の整理合理化、補助率の適正化、統合・重点化等の見直しを積極的に図る。
- 8 都税については、今後の経済動向等を的確に見通した上で、税制改正による影響等を含め、年間収入見込額を計上する。
- 9 都債については、将来の財政負担に配慮しつつ、投資的経費等の財源として、充実可能な事業に対して戦略的に活用する。
- 10 基金については、3つのシティ実現に向けた施策展開に必要な財政需要への対応を図るとともに、税収動向などを勘案しながら中長期的な視点に立って適切な活用を図る。
- 11 国庫支出金については、積極的な確保に努めることとし、国の予算編成の動向を踏まえ、年間内示見込額を計上する。
- 12 使用料及手数料については、受益者負担の適正化を図る観点から見直しを行い、都民生活への影響等にも配慮しつつ、所要の改定を行う。
- 13 予算の計上に当たっては、施策目的や効果の早期実現に向けて、事業計画やスケジュールの加速化を追求するとともに、必要に応じて債務負担行為なども積極的に活用する。
- 14 予算の編成に当たっては、法令等の遵守はもとより、より良い都政の実現というコンプライアンスの観点から、事業内容について、関係法令の制定趣旨や事業の目的に鑑み妥当であるか、都民が期待する都政の使命を果たすものとなっているか、想定される事業効果に対し適切な事業構築がなされているかなどを十分に検証した上で、所要額を計上する。
- 15 特別会計（準公営企業会計を含む。）については、一般会計と同一の基調に立って、過去の決算や執行状況、事業効果などを踏まえた評価を行うとともに、会計設立の趣旨などを改めて検証した上で、所要額を計上する。